



「モグ太」です。

新年度が始まりましたね。今回は、令和8年度の調査研究計画と、新たに就任した所長を紹介します。

幌延深地層研究センターでは、毎年度、当該年度の計画について、幌延町および北海道に計画書を提出し、説明を行うとともに、地域の皆さまへの説明会を開催しています。

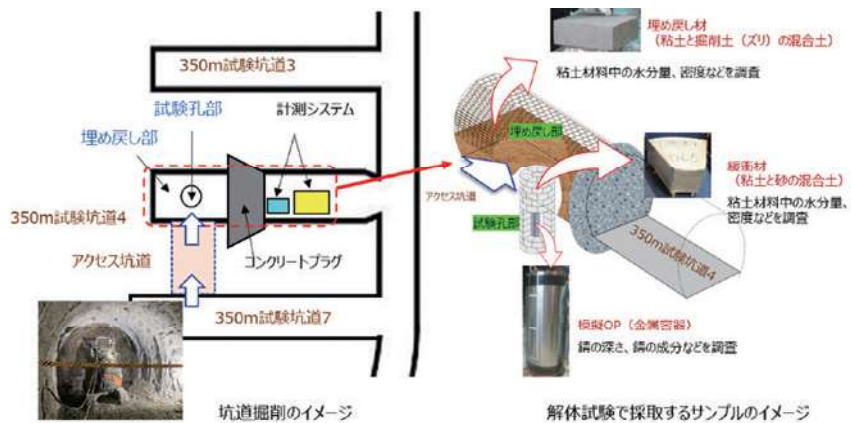
今回は、令和8年度の調査研究計画のうち、地下での主要な作業である人工バリア性能確認試験の解体試験と、地下500mでの研究について、簡単に紹介します。

### 【人工バリア性能確認試験の解体試験】

人工バリア性能確認試験は平成27年から地下350mに人工バリアを埋設し、モニタリングを行ってきた試験です。

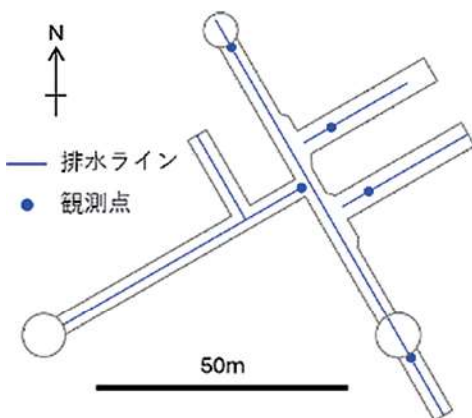
今年度は、10年以上モニタリングを行ってきた人工バリアを取り出して、埋め戻し材や緩衝材などの試料を採取・分析する解体試験を行います。採取した試料は、地上の室内で、水分量や密度などの分析を行います。

分析の主な目的は、これまでセンサーで取得してきたモニタリングデータの妥当性確認と、分析した結果を踏まえた解析を行い、シミュレーションモデルの高度化や適用性の確認などを行うことです。



【解体試験イメージ図】

### 【地下500mでの研究】



【500m 調査坑道排水システムの流路図】

地下500mで研究を行うために令和5年度から坑道の整備を再開し、令和8年1月15日に500m調査坑道の整備を完了しました。

地下500mの地質環境は、「稚内層」と呼ばれる地層の深部で、「稚内層」の浅部である地下350mと比べて土圧や地下水圧が高く、地下水の動きが極めてゆっくりであるなどの特徴があります。今年度は、昨年度に整備した排水システムを活用し、地下500mにおける各坑道からの地下水の湧水量を詳しく把握するとともに、湧水量がどのように減少していくかを予測する手法の確立に向けた解析などを進めます。

このほかにも、地下500mの坑道から掘削した2本のボーリング孔を用いてトレーサー試験を実施するなど、地下深部の地質環境の特性を把握するためのさまざまな研究を進めていきます。

今後も、北海道・幌延町との協定を前提に、安全第一で地下施設を活用した研究活動を進めていきますので、引き続き何卒よろしくお願いいたします。



## ★NEW!【新所長ご挨拶】 令和8年度より、館 幸男が所長に就任しました。

～ご挨拶～

幌延町の皆さま、こんにちは。このたび、幌延深地層研究センターの所長に就任いたしました。日頃より当センターの研究活動に対し、温かいご理解とご協力を頂き、心より感謝申し上げます。

これからも、安全を最優先に、研究内容を分かりやすくお伝えしながら、地域の皆さまとの対話を大切にしていきたいと思います。今後とも、どうぞよろしくお願いいたします。

～新所長に聞いてみた！～

**Q.** 普段はどんなお仕事を？

**A.** センターの運営方針や安全管理、研究の方向性や成果発信の検討、国内外の研究機関との連携推進などが中心です。センター内外との会議や視察対応、出張の機会も多くあります。

**Q.** 幌延深地層研究センターの「ここがすごい！」というポイントは？

**A.** 地下500mの堆積岩・塩水環境という、国際的にもユニークな環境で研究ができる点です。実際の地下環境のデータは非常に貴重で、世界からも注目されています。

**Q.** 幌延町での生活や印象は？

**A.** 自然が豊かで四季の変化を身近に感じられる点が魅力です。暖かい九州育ちですが、北緯45度の涼しい気候がとても気に入っています。

**Q.** 休日の過ごし方は？

**A.** サイクリングや登山、スキーなどで体を動かすほか、温泉や道の駅巡りを楽しんでいます。また、自宅では映画や動画鑑賞をして過ごしています。

**Q.** 意気込みをどうぞ！

**A.** 安全を最優先に最先端の研究を創出・発信し、地域に信頼され、世界に誇れる研究センターを目指していきます。



## 【地下350mの世界を見てみませんか？】

▶ 令和8年度地下施設見学会を始めました。

小学校4年生以上の方がご参加いただけます。

詳細は、QRコードまたはセンターホームページからご確認ください。

ぜひ、みなさまのご参加をお待ちしています！



センターホームページ

問い合わせ先: 国立研究開発法人日本原子力研究開発機構  
幌延深地層研究センター: 電話・告知端末機: 5-2022  
ゆめ地創館: 電話・告知端末機: 5-2772



ゆめ地創館ホームページ

広報・調査等交付金事業